

# 玉田工業株式会社環境行動計画

平成24年6月20日

## 取組方針

玉田工業は、エネルギー施設等の危険物地下貯蔵タンクメーカーであり、危険物地下貯蔵タンク製造技術を応用し、環境施設等にも適応する、耐震性貯水槽・防火水槽（アクアエンジェル）を製造するメーカーでもあります。

これらの製品は、地球環境に対して大きな関連性を有しており、特に近年は土壤汚染防止法の強化により、危険物地下貯蔵タンクの漏洩事故等の対応に関する事業が注目を集めております。当社の製品は、漏洩に対して未然に防ぐシステムで快適な地球環境をつくりあげる活動を行っております。

事業活動を進めていく中で、環境保全が重要課題の一つであることを認識し、事業活動に伴う環境への付加を軽減するため、以下の取り組みを社員一丸となって推進します。

1. 事業活動の中での省エネルギーと省資源（二酸化炭素排出量削減、紙使用料節減）
2. 製造部門、事務部門における廃棄物の削減
3. 5S活動の徹底

この奉仕に基づき、社員一人ひとりが自主的に取り組むために取り組み方針と取り組み目標及び具体的な取り組み内容を全社員に周知します。

平成24年 6月20日

玉田工業株式会社

代表取締役 玉田 善明

### 3 環境負荷の低減目標

25年に向けての環境負荷の低減目標は、次のとおりです。(数値的な低減目標についての基準年度は、いずれも23年です。)

【目標1】 二酸化炭素の総排出量を2%削減する



【目標2】 産業廃棄物の排出量を2%削減する



【目標3】 コピー用紙の使用量を2%削減する



【目標4】 水使用量を1%削減する



### 4 環境保全に向けた具体的な取組

【取組1】 二酸化炭素排出量の削減

(製造部門での活動)

- ・ 昼休みと休憩時間には、コンプレッサー等、使用していない機械の電源を切る
- ・ コンプレッサーのエア漏れを定期的に点検する
- ・ 作業効率の改善により残業時間を少なくする
- ・ 従来型蛍光灯を高効率蛍光灯やLED照明に交換する

(事務・営業部門での取組)

- ・ 事務室の空調温度を適正(冷房時28度、暖房時20度)に設定する
- ・ エアコンを使用するときはサーキュレーター等を併用し空気を循環させる
- ・ 昼休み消灯と人のいない部屋の消灯を徹底する
- ・ パソコンとコピー機の節電機能を活用する
- ・ 社用車の効率的な使用(運転経路、相乗り)を徹底する
- ・ アイドリングの防止と無駄のないアクセル操作を心がける
- ・ 車の空調温度を適正温度に設定する

【取組2】 廃棄物の適正管理と排出量の削減

(産業廃棄物)

- ・ 廃棄物の分別仕様を再検討し、置き場を整備する
- ・ 製造工程から発生する金属くずは全てリサイクルする
- ・ 廃棄物管理票(マニフェスト)の管理を徹底する
- ・ 不良品・スクラップ製品の発生状況を記録し、掲示する
- ・ ウェス、軍手は使用限度を定め、無駄に廃棄しない

(一般廃棄物)

- ・ ごみの分別を徹底し、リサイクル・リユースに努める
- ・ 排出する廃棄物の重さを計り、記録する
- ・ 詰め替え可能な製品、簡易包装の製品を優先的に選んで購入する
- ・ 製品をできるだけ長期間使用する

【取組3】 コピー用紙使用量の削減

- ・ 両面印刷、両面コピーを徹底する
- ・ 使用済み用紙の裏面を利用する
- ・ 書類、資料の電子データ化を進める

【取組4】 水使用量の削減

- ・ 配管からの漏水を定期的に点検する
- ・ 手洗い場に節水を呼びかける標語シールを掲示する
- ・ 洗車用のホースに手元コックを取り付ける
- ・ 水道蛇口に節水こまを設置する

【取組5】 その他の取組

- ・ 毎月、全社員による現場総点検を行い、5Sを徹底する
- ・ 製品、材料、工具は、決められた場所に返却する
- ・ 大型機械を扱う作業は、夜間・休日に行わない
- ・ 社員による技術提案制度で、環境への取組についても提案を募集する

## 5 環境行動計画の実施体制

この環境行動計画に基づき環境保全活動を効果的に実施するため、環境保全活動の責任者を中心に組織的に取り組むとともに、その進捗状況を年2回チェックする。